

指導用資材の紹介：吸入操作を支える補助具

あると吸入支援が楽になる。でも存在を知らないと提案できない、そんなメーカー資材を紹介するコラムです。頭の片隅に置いておいていただけると幸いです。

●総論

40代以降に発症する COPD はもとより、近年は高齢発症の喘息も増えており、高齢者の吸入指導も多いと思います。

その際にしばしば問題になるのが、手指筋力の低下であり、十分な力がないために充填操作が行えなかったり(タービュヘイラー、レスピマットなど)、押し込むのに必死になってしまったり吸入同調ができない(pMDI 各種)ことはよく見られます。

また、リウマチの患者さんで手指の変形があると、吸入デバイスの細かい操作が困難な場合もあります。

今回はそういった患者さんのために「操作部位を大きく・操作しやすくする」目的や「より弱い力でも適切に操作できる」ようにすることを目的にメーカーが用意している補助具を紹介していきたいと思います。

医療機関においても頻度に合わせて数個用意しておき、補助具が必要な患者さんが来訪されたらタイムリーに提供できるようにしておくとういと思います。

各論ではメーカーの問い合わせ先も掲載していますが、**実際は**該当メーカーの、各医療機関出入りの MR、または地域担当の営業所に依頼するのが早いと思います。

●各論

○タービュヘイラー：グリップサポーター

タービュヘイラーの底のつまみ部分に取り付けて、くぼみに指をかけて操作することで、クル、カチの操作を容易にするものです。

横に回転方向も大きめに書いてあるので、回す
順番がわからなくなりがちな方にも交付すること
があります。

(問い合わせ先：アストラゼネカ(株) 0120-189-115)

○レスピマット：回転君

レスピマットの底に取り付けて、充填操作のケース下半分を 180° 回転させる操作を容易にするものです。

(問い合わせ先：日本ベーリンガーインゲルハイム (株) 0120-189-779)



○pMDI：吸入補助具（フルプッシュ、プッシュサポーターなど）

pMDI はそのままですとボンベを押し込む力が不十分なために、タイミングよく押し込むことができず同調困難になるピットフォールがあります。

同調困難の対応としてはスパーサーもありますが、もし押す力が不十分なためにタイミングよく押下ができないことが問題のようなら、pMDI 各社から出ている吸入補助具が有効です。

スパーサーは有料ですが、吸入補助具はメーカーから無償で提供されます。

吸入補助具は槌子の原理でより小さな力でボンベを押せるようになっていることを基本的に、両手操作を可能にする(※)広いレバーやカウンターの数字を見やすくする拡大鏡などの工夫がされています。

フルプッシュ(フルティフォーム)やプッシュサポーター(エアロスフィア)等、近年上市された pMDI デバイスについては特に吸入補助具の開発にも力が入れられており、また潤沢に供給していただけるので、循環器・呼吸器病センターでも原則補助具を使用する形で指導を行っています。

※ 両手で持って構えることでより押しやすくなる、押下時の本体ブレも抑制できるメリットがあります。



↑ フルティフォーム&フルプッシュ

(問い合わせ先：キョーリン製薬（株） 0120-935240)



↑ エアロスフィア&プッシュサポーター

(問い合わせ先：アストラゼネカ(株) 0120-189-115)

○エリプタ：カバー開けのコツ

エリプタは吸入補助具ではありませんが、ちょっとした指導のコツを紹介します。

カバーが意外と固く、また手がかりが少ないため、小児や高齢者では開けにくいことがあります。その場合、机の上(滑りにくい素材がよい)にエリプタ本体を置き、片手で押しつけるように支えて、もう片手の手の腹を使って開けると開けやすいとされています。



(文責 循環器・呼吸器病センター 薬剤部 杉田)